

べっが 市議会だより

No.23 平成8年2月1日

編集 市議会だより編集委員会

発行 別府市議会

〒874 別府市上野口町1-15

☎ 0977-21-1111



消防出初式から
「はしご乗り」より



明るい笑顔で べっがの夢を
大きくはばたけ 1867人の新成人

新大学誘致の調査費など補正予算を可決

12月定例会は、12月7日から20日までの14日間の日程で開かれました。

5億6千9百10万円を追加する一般会計補正予算などをはじめ、市職員給与や各特別職の報酬・給料の改定に伴う条例案件など27件の審議が行われすべて原案のとおり可決されました。また、継続審査中の平成6年度一般会計・各特別会計決算認定案件については、決算特別委員会委員長より認定する旨の報告がなされた後、採決の結果、賛成多数で認定されました。

議員から、在沖繩米軍基地の整理縮小及び日米地位協定の見直し等に関する意見書案など4件が提出され、2件が原案のとおり可決されました。

主な内容

主な議決……P2～3

議案質疑……P4

一般質問……P5～7

その他……P8



12月定例議会風景

な 決 主 議

初日に七年度補正予算など十四件が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任・特別委員会へ付託されました。これらの議案は、最終日に、所管の委員長より審査結果が報告され、すべて原案のとおり可決されました。続いて、市長から教育長の辞任に伴い教育委員会委員の任命についての人事案件が提案され、原案のとおり同意されました。

議決された主な内容は、次のとおりです。

継続審査

◎平成六年度別府市一般会計・各特別会計決算の認定について

(認定)

決算特別委員会は、閉会中の十月二十五、二十六日に開催して審査を行いました。

特別委員会では、市の財政運営の根幹をなす、自主財源の低下や経常収支比率の上昇の原因などについて活発な質疑、答弁が交わされました。

特に、長引く景気低迷により影響を蒙るに受ける体質をもつ本市にお

いても市税の徴収率が低下し、また、毎年、特別委員会で指摘される税金の滞納問題については、年々増加傾向にあり、納税の公平性からも、今後改善策を見出し積極的に取り組み滞納整理に努めるよう強く要望するとの意見などが出されました。

補正予算

◎平成七年度一般会計補正予算

(第三号) (原案可決)

事業の主な内容として、総務関係では、「立命館アジア太平洋大学(仮称)」の平成十一年開学に向け、これまで大学誘致に取組んだ先進自治体の調査や大学及び県との協議などに要する経費を、また、民生関係では身体障害者及び高齢者のための「リフト付タクシー」の購入を助成するための経費や、震災の教訓を生かして、「家具転倒防止器具」を申請により取付けするための経費や、観光関係では、オリアナ号桟橋一帯の有効活用を図るための調査や観光客誘致対策として、台湾と札幌における観光宣伝を関係機関、団体と実施することとし、土木関係では、国の補助事業で山田関の江線道路改良事業などに支出しようとするものです。

十二月定例会 会期の経過

五日	議会運営委員会
七日	本会議(継続審査中の議案に対する委員長報告、討論、表決、議案上程、提案理由の説明)
十一日	本会議
十二日	(議案質疑、委員会付託) 本会議(一般質問)
十三日	本会議(一般質問)
十四日	議会運営委員会 本会議(一般質問)
十五日	議会編集委員会 各常任委員会
十八日	特別委員会
二十日	議会運営委員会 本会議 (上程中の全議案に対する各委員長報告、少数意見の報告、討論、表決)

◎平成七年度各特別会計(競輪事業、公共下水道事業、温泉事業)補正予算 (原案可決)

温泉関係では、「ふれあい・やすらぎ温泉整備事業」の事業計画の変更により用地購入費の予算減額に伴うものなど三会計合わせて八千四百二十一万七千円を追加しようとするものです。

◎平成七年度各会計(一般会計(第

四号)、八特別会計、水道事業会計)
補正予算
(原案可決)
国家公務員に対する人事院勧告に
準じて職員の給与改定をしようとする
ものです。

条 例

◎政治倫理の確立のための別府市長の
資産等の公開に関する条例の制定に
ついて
(原案可決)
「政治倫理の確立のための国会議員
の資産等の公開等に関する法律」の
規定に基づき、別府市長に係る条例
を定めようとするものです。



市議会を傍聴してみませんか

人 事

次の人が、教育委員会委員に、全会一致で
同意されました。

- 別府市教育委員会委員の任命について
本多 良正 氏(新任)
市内上人南1組3

意 見 書

議員より意見書4件が提出され、次のとおり
表決されました。

可決された意見書は直ちに関係機関へ送付
されました。

- (原案可決)
○「日本電信電話株式会社」の在り方に関する
意見書
○在沖縄米軍基地の整理縮小及び日米地位協
定の見直し等に関する意見書
(原案否決)
○医療制度の改善を求める意見書
○最低保障年金の創設を求める意見書

条例の一部改正

◎別府市職員の給与に関する条例の一
部改正についてほか一件
(原案可決)

市職員の給与改定に伴うものです。

別府市特別職報酬等審議会

昭和三十九年に市長の諮問に応
じ議会の議員の報酬並びに市長、
助役及び収入役の給料について審
議会が設置された。民間人等十人
で構成。
今回、他の公共団体の動向、財
政構造等を総合的に考慮した結果、
改定が適当であるとの答申が出さ
れた。

◎別府市税条例の一部改正について
(原案可決)

そ の 他

精神保健法の一部を改正する法律
に基づき、身体障害者等に対する軽
自動車税の減免に関する条例を整備
しようとするものです。

◎土地の取得について
(原案可決)

柴石温泉整備用地として、土地を
買い入れようとするものです。

◎動産の取得について
(原案可決)

火災等の鎮圧に使用するため、水
槽付消防ポンプ自動車を買い入れよ
うとするものです。

傍聴のご案内

- ◆本会議はどなたでも傍聴でき
ます。
- ◆お気軽に議会棟4階へお越し
下さい。
- ◆次の定例会は3月上旬に予定
しております。





滋賀県「びわこ・草津キャンパス」を視察する議員の一行

議案 質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

十二月十一日に七名の議員が行いましたが、主な質疑二件について掲載します。

新大学誘致による市の取組みについて

問 新大学誘致に関する経費の百三十三万二千円は、先進自治体の調査費などを中心とした予算であるが、9月25日に県、市、大学の基本的合意（注）をみて誘致が発表されてから、市民に、大変な希望をもたせている半面、財政的に心配だ、市民要求にしわ寄せが出るのでは…等という議論がおきている。発表後の市の取組みを見る限りまだ大学誘致に対する熱意が伝わってこない。今の時点、全庁体制で専従職員の配置をすべきではないのか。

答 市は、企業誘致を窓口にし、大学誘致促進庁内担当者会議を設け各種の問題点等を協議している。大学の基本構想が正式に決まれば、三者

間で建設スケジュールや周辺整備等を中心に協議・検討していきたい。新年度には、市も県の特別プロジェクトと合わせた体制をつくり、県、市一つの事務局を設置する方向で、県とも協議中である。

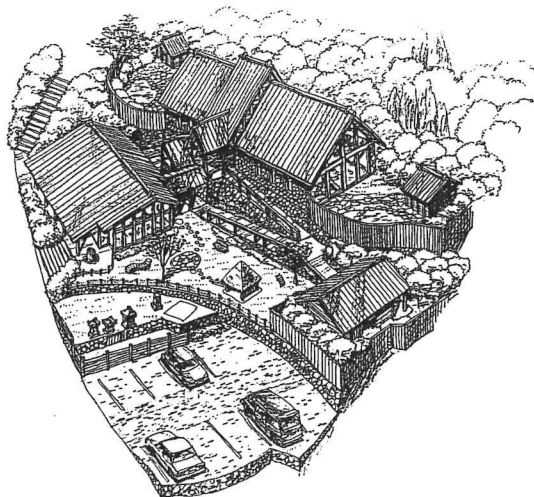
大学誘致の基本的合意（注）

- ① 学校法人立命館は、新大学を設置し運営する。
- ② 県は、新大学の建設費等について最大限の支援を行う。
- ③ 市は、新大学の用地取得、造成等について最大限の支援を行う。

柴石温泉整備事業の変更について

問 この事業は、基本設計の時点から二転三転して計画変更がなされているが、一度白紙に戻し、基本から練り直して、柴石地域の環境等に合った事業にしていけることが別府観光のイメージアップにもつながると思うがどうか。

答 事業そのものを白紙にすることは、もうすでに補助もいただき起債も組んでいる関係上、困難と思う。当初計画では民有地の買収等を含め



柴石温泉整備事業の完成イメージ図

た大規模温泉施設を考えたが、湯量の将来見通しから見て余りに大規模なものがないのか、また財政的に無理をしてまで、周辺の民有地を買収することがベターなのか等々を勘案した結果、今回見直しをするとの判断に至った。施設についても柴石のイメージ、自然環境にマッチしたものととして木造平屋建とした。

問 当初六億円の見込みから今回一億六千万円に減額した変更内容など、地元で説明されていない。また、オープン時期についてはどうか。

答 オープンは平成九年四月以降の予定である。今後、地元住民の同意をいただく取組みをしていきたい。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。十二月十二日から十四日までの三日間、十八名の議員が市当局の見解をたきました。

主な内容は次のとおりです。

答 志高湖を中心に自然景観を壊さない方法で、他の施設と調和を図りながら、総合的に整備をして、別府の顔となるよう、検討したい。

別府生き残りは観光以外にない

問 神楽女の菖蒲園の再生への取り組み、乙原の滝の台風禍における風倒木撤去問題、またビーコンの役員会に議会選出者がいないが、今後、どう対応するか当局の考え方を聞きたい。

答 菖蒲園の管理は専門職員を配備している課で管理育成に努めたい。乙原の滝については乙原地域取水口の問題等を考慮しながら風倒木の処理に対応したい。

ビーコンの波及効果は徐々にではあるが上がってきたと確信する。役員体制は次回改選時に考慮する。

B-CONを 使いやすく改善を

問 オープン以来、期待どおりの盛況だが、利用者からは使い勝手、看板、案内板、トイレを中心に、甚だ評判が悪い。改善要求があるが設計事務所が許可しないから出来ないと言われている。営業にも影響するし、ピート客が来なければ不安である。設計者の権限はどこまでか、早急に諸々の改善をすべきである。

答 建物完成後も設計事務所との契約で勝手に手を加えることはできないが、利用者の要求に耳を傾け、使う人の立場になって改善に取り組みながら運営していきたい。



オープン以来好調な B-CON

出生祝金の 導入を図るの

問 別府市は人口減少さらに少子化の時代、大分市も日出町も、出生祝金制度を取り入れている。別府市も導入を図ってほしい。

答 大分市も日出町も人口が増加している。これが出生祝金とどう関連しているかを調査し、又別府の隣の大分市と日出町が導入していることでもあり、十分に内部協議し前向きに取り組むを考えたい。

市財政の 立て直しについて

問 市財政の現状と総合基本計画の見直しについてどう考えるか。

答 市財政の現状については「六年度決算」でも明らかとなっており大変厳しいものになっている。今後改善の努力が必要と考える。基本計画についてもその作業にはいきたい。

問 老人福祉行政について、介護保険の導入が言われているが、自治体としてどう考えるか。

答 厚生省からもまだ具体的な説明はないが、重要課題であり、関係者の意見を聞きながら研究していきたい。「高齢者憲章」制度についても努力したい。

志高湖に オートキャンプ場の整備を

問 志高湖のオートキャンプ場は、年間一万人以上の家族が利用している。大自然の中、湖のオートキャンプ場は九州でも珍しく、夏だけでなくオールシーズン利用者が多い。しかし現状は、シャワー・電気等が不備であり、今後時代のニーズに対応できるように整備をお願いします。

堀本 博行
田中 祐二
後藤 健介
富田 公人
小林健一郎
岩男 三男
浜野 弘
本田 行男
伊藤 敏幸
加藤久美子
高橋美智子
佐藤 博章
清成 宣明
河野 数則
原 克実
阿佐 照雄
白石 昇
村田 政弘
(議席順)

立命館アジア太平洋大学 について

問 立命館アジア太平洋大学の別府進出について、別府市は土地の無償提供をするというが、土地を無償譲渡すると受けとつていいのか。

答 無償譲渡と理解してもらっている。

負担する費用は県の資金を借り受けて、その中から支出していくことを検討している。

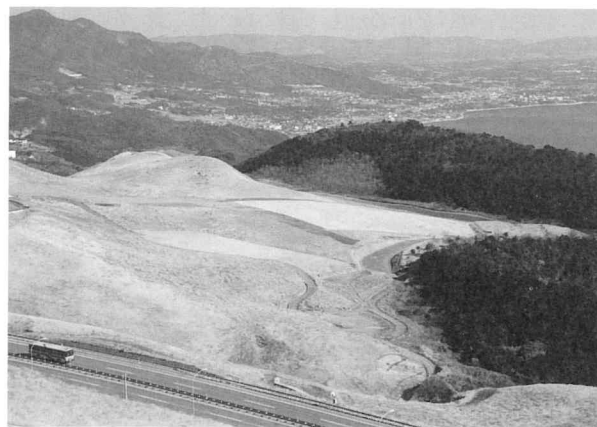
演習場周辺整備事業 の活用は

問 自衛隊十文字原演習場周辺地域の活性化のため、防衛施設周辺整備事業をもう少し活用しては如何か。

答 防衛施設周辺整備事業には「障害防止事業」「民生安定事業」等があり、平成六年度までに総額五十八億円の事業費が、十文字原演習場関連として国から投資されている。

障害防止事業には、五十三億円投資されているが、事業主体が県であるため県任せの事業が多かった。

今後は総合計画を策定して、民主安定事業等と相俟って効果的な周辺整備事業を防衛施設庁へ相談していきたい。



新大学の建設予定地（十文字原テレビ塔より）

新大学誘致の 地元説明会を

問 新大学の別府進出の記者発表から、すでに三ヶ月が経過しようとしているが、地元住民になぜ説明をしないのか。

かつて、地元の活性化対策の基本構想を策定したが、それを根本から見直す必要があると思うが……。

答 進出内容の全貌が明らかにになり次第説明をと考えていたが、今後は情報を随時流す手立てを考えていきたい。

問 大学関係者を文化講演会講師として招き、大学の構想を語っていただく場等も持っていたきたい。

総合福祉センターの 建設について

問 高齢者の在宅福祉サービス（デイサービス・ホームヘルパー）の充実や、障害者のデイサービスの必要など、総合的な別府の福祉の拠点となるセンターの建設をする考えはないか。

答 障害者のデイサービスについては、来年度、事業を開始する方向で進めている。市社会福祉会館は利用しにくいので本来の福祉のための目的に添うよう改善する。総合福祉センターは近い将来の課題として努力したい。

ポイ捨て防止条例の 制定を

問 平成九年施行予定のリサイクル法に向けての取組みについて。

答 清掃問題懇話会を設置し、まずゴミ袋の指定化を中心に、分別収集について協議している。いずれは審議会へと移行したいし、住民の声も広く取り入れていきたい。

問 目に余るタバコや空き缶等の投げ捨てに対して、市民のマナー向上も大切だが、罰則を入れたポイ捨て防止条例を制定してはどうか。また給食残棄処理も有料化になる状況で

生ゴミの有機肥料化を研究しては。
答 条例の件は懇話会で検討したい。

湯都ピア浜脇の 経営実態改善を

問 「湯都ピア浜脇の設置及び管理に関する条例」に違反して、アルコールを含む自動販売機及びゲーム機などの設置により収入増を図る計画や、同条例に定めている所長などのキチツとした配置、更には料金制度の抜本的な改善等を図り赤字経営を克服し、今、問題の大型温泉デルマスへの警鐘にすべきだ。

答 アルコール類を含む自動販売機の設置については、現時点では実施しておらず慎重を期して参りたい。また、所長配置については市の再開発課職員が所長兼務をしています。



多目的温泉保養館「湯都ピア浜脇」

南部地区の街づくりは 住民本位で

問 「住民意向調査」が関係住民に報告・検討が無いまま、又、県・建設省・学識経験者が参加する「別府市既成市街地環境整備基本構想策定委員会」にも図られずに、南部地区区画整理事業の、「凍結」「中止」が発表された。市民こそ主人公の立場を貫き、説明会を開き、関係住民の意見を聞くべきだ。阪神大震災後、安全・安心な街づくりへの再検討が必要になっている。その考えは無いのか。

答 地元の要望があれば説明会を開く。各種手法で、松原火災地と楠港埋立て地を核にした再開発を検討したい。



跡地利用が待たれる楠港埋立て地

国民文化祭の 取組について

問 平成十年に大分県内で開会される第十三回国民文化祭の受入れ態勢について説明願いたい。

答 三十八の事業は主催事業と協賛事業に大別できる。別府市では、主催六事業と協賛二事業の計八事業を計画して、県に書類を提出した。全国規模の大会なので、別府市での会場は、ビーコンプラザが最適と思う。

問 「第十回国民文化祭とちぎ95」は遠来の客を笑顔と温かい心で迎え、素晴らしい受入れ態勢だった。

答 関係方面と協議しながら受入れ態勢の充実を図りたい。

フロンガス回収機 導入について

問 フロンガスは冷蔵庫、エアコンに含まれ、大気中に放出されると、オゾン層を破壊し、有害な紫外線を増加させ、皮膚ガンや白内障などの病気発生率を高める。また地球温暖化や生態系にまで多大な影響をもたらす恐れがあるとして地球環境問題となっている。別府市ではこれまで

市内の電気店や市民から持ち込まれた冷蔵庫は、フロンを抜き取らずに土中に投棄し、フロンが大気中に放

出されていた。フロン回収機の導入はいつ実施されるのか。

答 九十六年四月から回収機を稼働します。

学校教育について

問 国の推進で、小学校の英語教育が、国際理解の観点からスタートして三年になるが、市としての取り組みは。

答 平成八年度予算で、英語指導助手を一人入れていただくよう申請している。

問 図書館行政について、別府市の図書購入費は県下の各市立図書館に比べ余りにも低すぎるが、増額をしようかどうか。

答 増額の方向で検討して参りたい。

米海兵隊の 日出生台移転反対を

問 沖縄米海兵隊員による少女暴行事件は野獣にも劣る極悪非道な犯罪として絶対に許すことのできないものです。ここに沖縄県民の怒りの深さがあり全国民の怒りへと発展しています。湯布院町民も沖縄県民の痛みに連帯して立ち上がっています。米海兵隊の日出生台移転によって別府市民が沖縄県民のような痛みを受

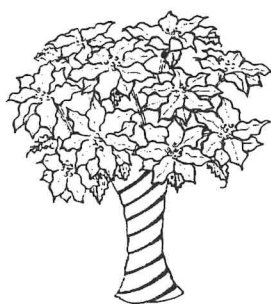
ける危険が予想されます。市民の安全を守るのが市長の努めではありませんか。反対の立場を明らかにされたい。

答 市民の安全の立場に立って対処して参りたい。

予防検診の 充実促進を

問 予防検診を充実させることが市民の健康増進を図り、医療費の増大を抑制することにつながると思うが現在の別府市の実施状況また今後の対策について、どのように考えているのかお聞かせ願いたい。

答 本市としては、ガン、心臓病、脳卒中等の早期治療を図るために別府市医師会、大分県地域保健センターの協力を得て、各種検診を行っている現状である。また、各種ガン検診の同時検診を平成七年八月から十月まで実施した。今後とも、市民の健康増進を図る意味から積極的に取り組んでまいりたい。



平成7年議会活動状況 (平成7年1月～12月)

(1) 本会議及び議決件数

区 分		会期日数	会議日数	傍聴者数	議 決 件 数		
					市長提出議案	議員提出議案	合 計
定 例 会	第1回（3月）	15日	6日	85人	36件	4件	40件
	第2回（6月）	14日	6日	147人	32件	6件	38件
	第3回（9月）	15日	6日	128人	23件	2件	25件
	第4回（12月）	14日	6日	100人	27件	4件	31件
	小 計	58日	24日	460人	118件	16件	134件
臨 事 会（5月）		1日	1日	0人	1件		1件
合 計		59日	25日	460人	119件	16件	135件

(2) 常任委員会

区 分	開催日数	付託件数
総務文教	5日	47件
観光経済	6日	25件
厚 生	5日	16件
建設水道	5日	24件
合 計	21日	112件

※このほかに、議員が議会代表として、市長等より委嘱され、各種審議会・協議会委員として活動しています。

一 メ モ ー 付 託

議会の議決を要する事件について、議会の議決に先立ち詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会、議会運営委員会または特別委員会に審査を委託することをいう。

付託により当該事件の審査に入ることができる。付託される事件は、議案、請願、意見書、決議等議決を要する事件である。

(3) 特別委員会等

区 分	開催日数	付託日数	摘 要
観光振興・コンベンションセンター建設対策	1日	3件	3月定例会をもって議員の任期満了により消滅
交通体系整備対策	1日	1件	
海岸整備・南部振興対策	1日	4件	
行政改革問題対策	1日	1件	
観光振興・企業誘致対策	1日	—	6月定例会で新たに設置
交通体系・海岸整備対策	4日	4件	
南部振興・再開発対策	1日	—	
観光振興及び企業・大学誘致対策	1日	1件	12月定例会で変更
決 算	3日	1件	
随意契約事務等調査	4日	—	3/20 調査終了
議会運営委員会	15日	—	
議会だより編集委員会	8日	—	

特別委員会の名称・定数が変更になりました。

「立命館大学アジア太平洋大学（仮称）」の進出に伴い、大学誘致に関する事項を加え、定数を三名増員しました。

(変更前)

◎観光振興及び企業誘致対策特別委員会
十一名以内

(変更後)

◎観光振興及び企業・大学誘致対策特別委員会
十四名以内

お 願 い

政治家が、入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄付をすることは禁止されています。
政治家に、寄付を勧誘・要求することは禁止されています。

